

太宰府市の学校司書配置に関する請願

市内の小・中学校全校に子どもたちが学校にいる時間勤務する専任の学校司書を常時配置してください。

私どもは市民図書館で行われました平成 23 年図書館講座、福岡女子短期大学の白根教授による「図書館を身近に暮らしの中に」において、図書館司書の役割について学ぶ機会があり、市内小・中学校の校長先生、学校図書館司書経験者と意見交換などを行う中で、太宰府市の小・中学校において専任の学校司書の配置を願うようになりました。

1. 子どもたちが1日の長い時間を過ごす学校で、適切な図書、雑誌をそろえ、読書環境、学習環境を整えるには、図書の専門知識を持ち、図書室に常駐できる学校司書の存在が不可欠です。
2. 子どもたちに豊かな授業を保障するため、膨大な図書室の資料の中から適切なものを迅速に担任教師に提供し、常にサポートができる存在は学校司書です。司書教諭が常時勤務する学校ならば、司書教諭、担任、学校司書の3者で協力して、さらに豊かな授業が展開できると考えられます。
3. 専門知識のある学校司書だからこそ、図書室に常駐し、児童・生徒と接し、一人一人に合った本を手渡すことができます。多くの本との出会いは、子どもたちの心の成長を支え、またみずから調べるといった学習の基礎を支え、生きる力を育てると考えられます。
4. 学校内で教師とは違う立場で子どもに接することができる大人がいることで、学校になじめず悩みを持つ児童・生徒の精神面でのサポートが可能です。そのような存在が図書室に常駐することで、図書室通学という形での学習支援が可能となり、また中学校においては放課後の生徒の居場所として活用する事例も生まれています。

以上のことから、太宰府市の未来を担う子どもたちの豊かな心の育ちと高度な学習支援機能を発揮できる学校図書室づくりを進めていただくよう強く要望します。

平成 25 年 2 月 19 日